	•				_									
1 施設の概要	更									所	管課	عے	も未	来課
施設の名称	更級児	建館			Ē	折在地	千曲	市大	字羽尾181	12(平成)	6年建)			
指定管理者	社会福祉	止法人千曲市社	L会福祉協議	会 住 所	千曲	市大字	戸倉2	388番	地					
相处各些名	代表者	会長 島谷正	行	指定期間	う 令和3	年度 ~	令和7	年度	(5年間)	初協定	平成18	3年度	通算	19年
	① 施設の管理及び運営に関すること													
主な業務内容	② 施設及び設備の維持管理に関すること					(5)	(5)							
	3					6								
職員体制	令和4年度		計 3 人	令和5年度			計	3 <i>)</i>	令和6年度			計(3 人	

2 施設の利用実績等

		令和4年	度	令和5年	度	令和6年	度
	区 分	人数	対前年度比(%)	人 数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
利用状況	小学生	6,121	101%	5,086	83%	4,806	94%
	乳幼児	31	39%	20	65%	9	45%
	大人	45	55%	19	42%	10	53%
	合 計	6,197	100%	5,125	83%	4,825	94%
特記事項(増減理由)	小学生利用の減少は主に一	 -時利用者の利用減 _:	少による。				

		令和4年	度	令和5年	度	令和6年	度
	項目	金 額(円)	対前年度比(%)	金 額(円)	対前年度比(%)	金 額(円)	対前年度比(%)
収	指定管理料	8,024,604	92%	9,699,408	121%	10,292,012	106%
入	その他収入					0	
	処遇改善補助金	849,177	1428%	0	0%	0	
~	コロナ感染拡大防止対策事業補助金					0	
a							
$\overline{}$	合 計	8,873,781	95%	9,699,408	109%	10,292,012	106%
費	人件費	7,937,990	104%	8,408,816	106%	8,917,677	106%
用	事務費	317,205	98%	281,135	89%	345,543	123%
	事業費	210,306	126%	209,556	100%	276,491	132%
~	管理費	707,154	61%	764,770	108%	665,288	87%
b							
$\overline{}$	合 計	9,172,655	99%	9,664,277	105%	10,204,999	106%
	損 益 (a)-(b)	-298,874		35,131		87,013	
	入の部(a) 費用の部(b	収入の部(aa)	項目 金額(円) 取 指定管理料 8,024,604 その他収入 処遇改善補助金 849,177 コロナ感染拡大防止対策事業補助金 合計 8,873,781 費用のの部 () 事務費 317,205 事業費 210,306 管理費 707,154	収入の部のでは、	項目 金額(円) 対前年度比(%) 金額(円) 収入のの部 (A) 担談	項目 金額(円) 対前年度比(%) 金額(円) 対前年度比(%) 指定管理料 8,024,604 92% 9,699,408 121% その他収入 処遇改善補助金 849,177 1428% 0 0% コロナ感染拡大防止対策事業補助金 合計 8,873,781 95% 9,699,408 109% 本 100% 事務費 7,937,990 104% 8,408,816 106% 事務費 317,205 98% 281,135 89% 事業費 210,306 126% 209,556 100% 管理費 707,154 61% 764,770 108% 合計 9,172,655 99% 9,664,277 105%	項目 金額(円) 対前年度比(%) 金額(円) 対前年度比(%) 金額(円) おことで理料 8,024,604 92% 9,699,408 121% 10,292,012 その他収入 処遇改善補助金 849,177 1428% 0 0 0% 0 中 日本

特記事項 (増減理由) 電気代等の節減により管理費が減少した。

●自主事業の実施状況

10/17 赤い羽根共同募金事業 マンドリンコンサート 11/14 赤い羽根共同募金事業 茶道体験

内容

			令和4年	度	令和5年	度	令和6年	度
		項目	金 額(円)	対前年度比(%)	金 額(円)	対前年度比(%)	金 額(円)	対前年度比(%)
	収	共募配分金			10,000		10,000	100%
	入の							
	部							
自	a							
自主事業収支	ا ت	合 計	0		10,000		10,000	100%
事	費	謝金			10,000		10,000	100%
収	用	イベント用品						
支	部							
	— пр							
	b							
	$\overline{}$	合 計	0		10,000		10,000	100%
		損 益 (a)-(b)	0		0		0	

	令和4年周	Ę	令和5年	度	令和6年度		
管理経費・自主事業収入合計	8,873,781	95%	9,709,408	109%	10,302,012	106%	
管理経費・自主事業費用合計	9,172,655	99%	9,674,277	105%	10,214,999	106%	
損 益 (a)-(b)	-298,874		35,131		87,013		

施作	本制		判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員(人数、有資格者)を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み(教育・研修)を 実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か。	b	2
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
0	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
1	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
殳	・ 設備の維持管理		判定	評点
2	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	
3	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
4	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	b	2
.5	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
6	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
對	業務及びサービスの質の 向	上	判定	評別
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	b	
18	利用実績及び施設の稼働 率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、 潜在的な利用者にアピールしているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	2
	利用者アンケート等の 施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施 しているか。	b	
支礼	犬況		判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	2
20	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	b	
29	奴隶が決った如っ	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	b	
	経費節減の取組み	性負別域、いり取り組みを行い、「この別不はめ」ったか。	D	

同と参学 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった 不適切な管理運営が行われた

…2点

…1点

- b

◎評点

- ・各項目の評価にaがあり、その他はbである …3点
- 各項目の評価がすべてbである
- 各項目の評価にcがあり、dはない

◎総合評価

- A (特に優れていると認めるもの) 合計 10点以上
- B (適正であると認めるもの) C (さらなる努力が必要)

合計 7~9点 合計 4~6点

総合 評価

В